

研究科(1年制)

インストラクターコース

	科目	1年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	38	必修	講義	○	38
	選択授業	38	必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	必修	実習	○	134
	イベント制作実習B	301	必修	実習	○	301
専門科目	各専攻トレーニング	76	必修	実技	○	76
	各専攻実技	76	必修	実技	○	76
	各専攻実践	76	必修	実技	○	76
	指導実習	38	必修	実習		-
	課題制作	133	必修	実習	○	133
合計	総授業時間数	910				
合計	総授業時間数					合計
	卒業時最少時間	910				834

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。</p> <p>講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。</p> <p>到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし
成績評価	<p>課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。</p> <p>(2019年度例)</p> <p>エイベックス・エンタテインメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、oricon ME、株式会社エイスリー 等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業			実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	38	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。          科目数は毎年約30科目ほどである。          各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による
成績評価	<p>※各科目によって異なる</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻トレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	真山亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	76 時間
対象学科	研究科		対象コース	インストラクターコース

授業概要	実践での演奏に必要な技術を養う。様々なスタイルやコード進行に対応できるバックイング、アドリブ等のアプローチ方法を学びます
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	フィンガリングやピッキングの音感とレーニング等の基礎トレーニング
2	フィンガリングやピッキングの音感とレーニング等の基礎トレーニング
3	上記を毎回日々のトレーニングとします。オープン、バレーコード等の基礎を学びます
4	オープン、バレーコード等の基礎を学びます
5	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習
6	バックイングアプローチ、マイナーペンタトニックを使ってアドリブ練習
7	バックイングアプローチ、メジャーペンタトニックやイオニアンスケールを使ってのアドリブ練習
8	バックイングアプローチ、メジャーペンタトニックやイオニアンスケールを使ってのアドリブ練習
9	前期試験。これまでの内容の実践
10	ブルースでのバックイングアプローチ、メジャー/マイナーペンタトニックを使用してアドリブの練習
11	ブルースでのバックイングアプローチ、メジャー/マイナーペンタトニックを使用してアドリブの練習
12	ブルースでのバックイングアプローチ、メジャー/マイナーペンタトニックを使用してアドリブの練習
13	ブルースでのバックイングアプローチ、コードトーンを意識したアドリブの練習
14	ブルースでのバックイングアプローチ、コードトーンを意識したアドリブの練習
15	ブルースでのバックイングアプローチ、コードトーンを意識したアドリブの練習
16	ブルースでのバックイングアプローチ、ペンタトニックやコードトーンを意識したアドリブの練習
17	ブルースでのバックイングアプローチ、ペンタトニックとミクソリディアンスケール関係
18	ブルースでのバックイングアプローチ、ペンタトニックとミクソリディアンスケール関係
19	後期試験。前期を含めて実践的に成果をみます

教科書等	無し
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	講師歴15年。大手音楽教室資格取得

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻実技		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洗平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	76 時間
対象学科	研究科		対象コース	インストラクターコース

## 授業概要

総合的なギターの奏法をマスターする。  
主にアコースティックギターを使用し、弾き語りの伴奏を体得する。また、ギターを使用したコード理論・ケーデンス・作曲法も体得する。

## 授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ギターの特徴であったり、教室施設の説明。スタジオ機材の説明
2	ギターの構え方。読譜方法。基本的ストローク
3	オープンコードの押さえ方。課題曲①を用いたコードチェンジ
4	課題曲① 全音符～8分音符のストローク
5	課題曲②8th note Groove 解説
6	課題曲②8th note Groove チェック
7	課題曲③16 t h note Groove 解説
8	課題曲③16 t h note Groove チェック
9	前期末テスト（課題曲②・③）
10	前期に行った課題曲をもう一度行い確認
11	転調とカポタストの役割
12	課題曲④3和音中心のアルペジオ
13	三和音・四和音のヴォイスング
14	四和音を使用した課題曲④8th note Groove
15	四和音を使用した課題曲④8th note Groove
16	四和音を使用した課題曲⑤16th note Groove
17	四和音を使用した課題曲⑤16th note Groove
18	期末課題曲⑥の解説
19	期末試験 期末課題曲⑥のチェック

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	各専攻実践		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洗平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	76 時間
対象学科	研究科		対象コース	インストラクターコース

授業概要	音楽理論を交えた演奏や、各音楽ジャンルへの理解を深めます。 譜面の読み書きや、コード・ハーモニーへの理解を深め、楽曲に対する理解を深めます。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・授業の進行説明・面談（目指すギタープレイや将来の展望など確認）
2	メジャースケールの知識・アンプでの音つくりの知識
3	メジャースケールの基礎
4	3和音の知識（CAGEDフォームを使用）
5	ダイアトニックコードについて・メジャーダイアトニックコード進行
6	コードスケール・テンションに関して
7	マイナースケールとマイナーダイアトニックコード進行・テンション
8	ダイアトニック以外のコード（6th.sus4.Dim.分数コード）
9	前期末実技テスト
10	セカンダリードミナントコード・代理ドミナント・二次的ドミナントについて。
11	ディミニッシュコードについて①
12	ディミニッシュコードについて②
13	課題曲①の解説・実践
14	課題曲①のチェック
15	課題曲②の解説・実践
16	課題曲②のチェック
17	課題曲③の解説・実践
18	課題曲③のチェック
19	後期末実技テスト 課題曲①～③の中から選んだ一曲の実技試験

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	指導実習		実務授業の有無	×
担当講師	山本雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38
対象学科	研究科		対象コース	インストラクターコース

授業概要	<p>指導方法を一から学び、授業計画策定方法や実際に模擬授業を通じて、指導力を向上させる。          指導力には人間性の面においても非常に重要である。          技術面だけでなく、人間性育成面を向上させられるように人間力も磨いていく。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／目指す方向を定める
2	授業計画策定法／授業計画作成方法を学ぶ①
3	授業計画策定法／授業計画作成方法を学ぶ②
4	授業計画フィードバック／立案の授業計画に対するフィードバック
5	模擬授業①／15分程度の模擬授業を行う。フィードバック、振り返り
6	模擬授業②／15分程度の模擬授業を行う。フィードバック、振り返り
7	模擬授業③／30分程度の模擬授業を行う。フィードバック、振り返り
8	模擬授業④／50分程度の模擬授業を行う。フィードバック、振り返り
9	前期のまとめ・フィードバック
10	後期イントロダクション／目指す方向の再設定
11	授業計画策定法／授業計画作成方法を学ぶ①
12	授業計画策定法／授業計画作成方法を学ぶ②
13	授業計画フィードバック／立案の授業計画に対するフィードバック
14	模擬授業①／30分程度の模擬授業を行う。フィードバック、振り返り
15	模擬授業②／30分程度の模擬授業を行う。フィードバック、振り返り
16	模擬授業③／50分程度の模擬授業を行う。フィードバック、振り返り
17	模擬授業④／50分程度の模擬授業を行う。フィードバック、振り返り
18	模擬授業⑤／50分程度の模擬授業を行う。フィードバック、振り返り
19	後期のまとめ・フィードバック

教科書等	使用しない
成績評価	<p>模擬授業70%、授業態度および学習態度30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	課題制作		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	133 時間
対象学科	研究科		対象コース	全コース

授業概要	音楽業界へのデビュー・就職を目指していくにあたり、発信できるコンテンツを保有し、発信し続けることが非常に重要である。 本授業では、各々の課題について研究し、成果となるコンテンツを制作する。 また、制作されたコンテンツについては音楽業界企業関係者へ送付していく。かつ、自身のプロモーションにつなげていく。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業オリエンテーション(学習の目標、動機づけ) 課題検討
2	各研究・制作する課題のプレゼンテーション
3	課題制作① 制作上での注意点の共有・どんなコンテンツが求められているか？ - I
4	課題制作② 制作上での注意点の共有・どんなコンテンツが求められているか？ - II
5	課題制作③ 中間プレゼンに向けての注意事項の説明
6	課題中間プレゼン
7	課題制作④ 中間プレゼンを経ての振り返り
8	課題制作⑤ 最終プレゼンに向けての調整
9	前期最終課題プレゼン
10	後期授業オリエンテーション(学習の目標、動機づけ) 課題検討
11	各研究・制作する課題のプレゼンテーション
12	課題制作① 制作上での注意点の共有・どんなコンテンツが求められているか？ - I
13	課題制作② 制作上での注意点の共有・どんなコンテンツが求められているか？ - II
14	課題制作③ 中間プレゼンに向けての注意事項の説明
15	課題中間プレゼン
16	課題制作④ 中間プレゼンを経ての振り返り
17	課題制作⑤ 最終プレゼンに向けての調整
18	課題制作⑥ 最終プレゼンに向けての調整
19	後期最終課題プレゼン

教科書等	なし
成績評価	授業の取り組み姿勢30%、中間プレゼン30%、最終プレゼン40%で評価する 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミグ】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)